

本町道路完成記念オープニング式典



2/1 中央商店街アーケードカラフルに

中

中央商店街アーケードで「本町道路完成記念オープニング式典」が行われました。

これは、中心市街地の活性化のために整備されたもので、「本陣通り」と「本町3丁目通り」を結ぶアーケードの延長約300メートルに、10色のタイルを組み合わせ、カラフルで多様な幾何学模様をデザインを敷き詰めました。式典では、テープカットや太鼓演奏などのほか、Vフォーレン長崎の皆さんにもご来場いただき、アーケードカラー舗装の完成を祝いました。

災害時要援護者に関する情報共有協定締結式



2/3 情報を共有し災害時の連携を強化

市

は、福重地区の全ての自主防災組織（10団体）と、「災害時要援護者に関する情報共有協定」を締結しました。

これは、市が保有する災害時要援護者登録情報を自主防災組織や町内会に提供するもので、安否確認や避難支援など地域の身近な支援体制づくりを目指します。締結式では、市と福重地区の代表者との間で調印を行い、災害時に連携を強化することを確認しました。これにより、協定の締結は53か所となりました。

第5回新幹線新大村駅（仮称）周辺地域まちづくり計画策定委員会



2/5 開業がもたらす「まちづくり」への効果

新

大村駅（仮称）周辺地域のまちづくりを考えるための「第5回まちづくり計画策定委員会」を、郡コミセンで行いました。

委員会では、新幹線の開業がもたらす「まちづくり」への効果について活発な議論が行われました。また、5人の委員から、「天正遣欧少年使節」や「食」を生かしたまちづくりなどについて意見発表がありました。委員会の様子は、一般公開されていて、どなたでも傍聴することができます。次回（第6回）は、3月19日（水）に市コミセンで開催する予定です。



感動を覚えた大地讃頌

市長コラム

vol.31

1月12日、市民会館大ホールでの恒例の成人式、私は初めて車椅子から皆さんにごあいさつしました。あいさつのもと、これまでにない大きな拍手と、初めてとなる激励の歓声をいただきました。私個人としても、忘れられない成人式となりました。

式には、877人の参加がありました。ここ数年、新成人全員で合唱する「大地讃頌」の歌声に、毎年感動を覚えていきます。この曲は、新成人が中学生の頃、市内合唱コンクールの課題曲として取り組み、式典会場の市民会館で声高らかに歌い上げた思い出の曲です。平成23年の成人式で、参加者全員で作りに上げる二十歳のパフォーマンスをやりたいたいという意見があり、思い出の曲を歌おうと、大地讃頌の合唱が始まりました。「母なる大地の懐に」という歌詞、15歳の時に感じたものと、5年の歳月の中でさまざまな経験を積んだ二十歳の今、感じることは大きく変わっている事でしょう。東日本大震災の後、故郷の大地、ふるさと大村への思いも強く、大きく膨らんでいるのではないのでしょうか。

私は、次のようなメッセージを新成人へ贈りました。新成人の皆さんには無限の可能性があると思います。大きな夢を持ち、二歩二歩努力を続けてください。若い皆さんには、パワーがあります。後悔しないよう、これからの人生、失敗を恐れず、何事にも積極的にチャレンジし、たくさんの経験を積むことが必要です。すべてを失っても、人は何度でも立ち上がることができるのです。成人の日を迎えることができたのは、多くの人の支えがあったからです。これまで出会った友人や恩師、そして育ててくれた家族への感謝の気持ちを忘れずに、これまで築いてきた絆を大切にしながら、今後の出会いと夢に向かってがんばってほしいと思います。